

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	教育総務課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実
分野別方針	(9)教育活動の充実
実施計画事業	1)学校・地域連携事業(No.21)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	児童・生徒安全対策事業	94.5%	A
02	教育委員経費	97.1%	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・地域の方々に気軽に学校に係わっていただける仕組みづくり。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	スクールガードリーダーの活動や児童・生徒安全対策協議会への参画など、地域の方々に協力いただいているが、形骸的になっている部分がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	スクールガードリーダーの活動や児童・生徒安全対策協議会の有効活用など、地域の方々の参画による実効性のある取組みを行うための仕組みづくり必要がある。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	教育総務課が所管する「児童・生徒安全対策協議会」による町民や関係機関等を巻き込んだ児童生徒の安全対策は、今後も益々必要となって来ると思われる。一方、組織づくりについては、防災安全課にも同様の組織(「安心安全まちづくり推進協議会」)がある。対象の広い「安心安全まちづくり推進協議会」の一部に児童生徒に特化した部会として合理化するなどが必要でないかと思う。		